

親子支援だより ほっと通信

1月号 No.9 平成30年1月9日 浜松学院大学付属幼稚園

【発行】教頭：山梨明子 【添文】心の相談員：中島祐子

毎日、家事や育児を頑張るお母さんが、このおたよりを読みながら・・・

①ほっとひと息ついて ②ホッと安心し ③ホット(HOT)な温かく優しい気分
に包まれますように・・・ いつでも応援しています！共に歩みましょうね！

みなさん、こんにちは。年末年始は、いかがお過ごしでしたか？ 新年を迎え、気持ち新たに色々とはりきっていらっしやることと思います。私は…12月末に反省すべき事がありまして。今年1年間、心がけなくちゃいけないなあ…と思っていることがあるので、その出来事から書かせて下さいね。それは、クリスマス25日朝の事。大きくなった子ども達へのクリスマスプレゼントは希望通りの物をすでに渡してあるので、昔のように「夜中こっそりと子どもの枕元に…」なんてことはしません。ですから、25日の朝はいつも通り5時に起きてすぐ家事にとりかかり、子ども達とも普通のやりとりをし、そのまま出勤。そして、その日の勤務を終え、また慌ただしく家事や仕事を終え、夜中12:00過ぎにベッドに向かうと…。布団の足元に大きなプレゼント袋が2つ置いてありました。びっくりして見ると、それは長女から私達夫婦へのクリスマスプレゼントでした。朝、そこに置いてあったことにも気づかず、丸1日が過ぎていたのです…。その夜、長女は既に眠っていたので、すぐにラインで「今気が付いた！ごめん！ありがとう！」のメッセージを送りましたが…。その日の夜に「なんであんなに大きい物なのに2人も気づかないかな～ってメッチャ不思議だった」と長女に言われてしまいました。

「忙」とは「心を亡くす」と書きます。まさに朝の忙しさを理由に、目にも止まらなかったプレゼント。どんなに忙しくても心にちょっとだけ余裕があれば…と反省しました。一緒に暮らす人や物への気遣いが、ごく普通にやれている気になっていたのに。こんなことすら気づく『目と心』が無かったことにショックでした。ですから、新年は少しだけ心にゆとりを持って過ごしてみようと思ったのです。時間的なゆとりなんて皆無ですが、多忙でも心は家族の言動にきちんと心を留めて過ごしていこうと。そんな当たり前のことに気づかせてもらった長女からのクリスマスプレゼントでした(笑)

お母さん方も年末年始、さぞお忙しかったことでしょう！冬休みは、楽しい事も盛りだくさんだったと思いますが、その分、お母さんのお疲れ具合も倍増かな？ そんな時はどうぞひと息ついて、気持ちにゆとりのエキスを1滴注いであげて下さいね。私もそんな気持ちで今年1年を頑張って乗り越えていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします！

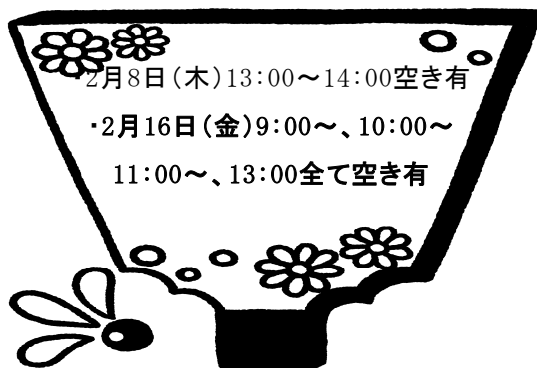


1月のカウンセリング予定



・1月11日(木)11:00～12:00空き有
・1月18日(木)空はありません
・1月25日(木)空はありません

2月のカウンセリング予定



・2月8日(木)13:00～14:00空き有
・2月16日(金)9:00～、10:00～
11:00～、13:00全て空き有

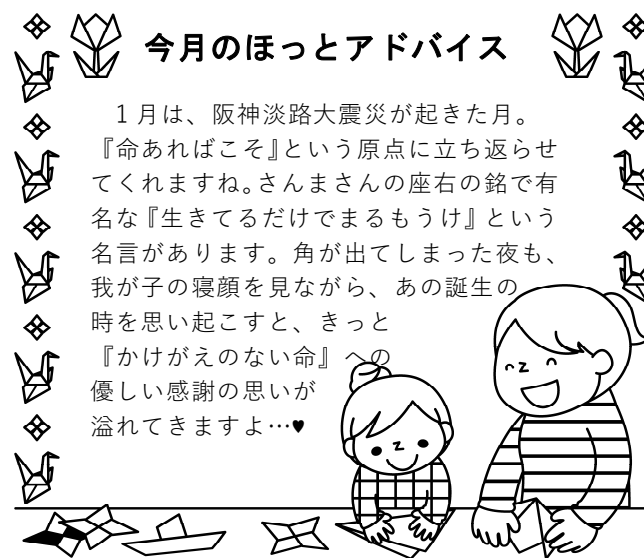
唯一無二の命を育む…

新年のお慶びを申し上げます。冬休み…年に一度の特別な祝い事が続き、風邪の季節ということもあり、お疲れは溜まっていますか？お父さん、お母さん、本当にお疲れさま…という思いでいっぱいです。

我が家では付属幼稚園でお世話になった次男が成人式を迎えることになりました。次男は母体の事情のため、9ヶ月を待たずに出産しなければならませんでした。そのため3人の子どもの中でも産後が最も大変だったことを鮮明に覚えています。肺の機能が完成する前に生まれたために複数の心配な状況があり、NICUの中で1ヶ月の間、痩せ細った体で大変な治療に耐え、何とか峠を越え、無事に退院できました。産後すぐに母乳をあげられないことは心痛むことでしたが、とにかくこの小さな命の灯が消えませぬようにと「この子のために自分の命を捧げたい」という思いで祈る毎日でした。お陰さまですくすくと成長し、なんと180cmを超える程になりました！他の子同様、次男も悩みながらの子育てでしたが、心の深いところに在り続ける、あの出産時に祈っていた「この子の命さえあれば他には何も望みません」という存在の原点に立ち返らせて頂けることは、やはり大変な体験から頂いたギフトであったなあと思うのです。

次男は、とりわけ痛みに弱く、歯医者や注射などは大変でした。どうしたかなあと思いを巡らしていたある時、生後すぐに痛い治療をたくさん受けていたことに繋がり、その頃の影響があるのかもしれないと思い至ったのです。このことを通し「どうして？」と思えることの中に、出産前後から医療スタッフの方々や、たくさんの方々の祈りに助けられ、母子共に命の危機を乗り越えられたことを振り返ると、命の産み育てるということは、多くの方達の支えと多くの祈りが必要なのだなあとしみじみ感じます。

このような体験を経てきた私ですが、今年もご縁あってカウンセリングにいらして下さる皆様と、子どもの命と皆さんの命という唯一無二の命を育むことについて、一緒に思いを巡らせながら、ともに成長していきますように…と心より願っています。どうぞ宜しくお願い致します。 心の相談員：中島祐子



今月のほっとアドバイス

1月は、阪神淡路大震災が起きた月。『命あればこそ』という原点に立ち返らせてくれますね。さんまさんの座右の銘で有名な『生きてるだけでまるもうけ』という名言があります。角が出てしまった夜も、我が子の寝顔を見ながら、あの誕生の時を思い起こすと、きっと『かけがえない命』優しい感謝の思いが溢れてきますよ…♡

未就園のお子さんを連れて カウンセリングに来園される方へ

託児を担当して下さるお母さん(卒園児の保護者様です)がいらっしやいます。プレイルームや図書室や園庭でお子さんを遊ばせながら、楽しく安全にお子さんをお預かりし、親御さんが集中してカウンセリングを受けて頂けるようサポート致します。1回1,000円の実費となりますが、ご希望の方は、カウンセリング予約時に託児希望も併せてお知らせ下さい。



◎カウンセリングは守秘義務を厳守します。また、カウンセリングの対象は付属幼稚園の保護者様となります。予約の際は、在園保護者様を優先しますが、空き状況により、未就園児活動に参加している保護者様(当園に入園予定の方)と、当園卒園の保護者様に限り、予約をお受けできます。ご理解の程、よろしくお祈りいたします。
◎カウンセリングの予約は、幼稚園に電話(☎72-5193)をし、希望の日時をお知らせください。その場で空き状況をお伝えして日時を決定します。1回のカウンセリングは50分間の予定です(幼稚園の会議室で実施します) ※2月は、都合により15日(木)→16日(金)に振替をしています。